



相原  
平田

租稅改革ノ論達

2992



114  
A 1942



大正十一年四月  
限侯爵郵寄贈月

租稅改革ニ就キ獨逸國宰相ノ諭達  
 釀造稅、証券印紙稅、兵役稅（徵兵適齡ニシテ服役  
 セザル者ヨリ徵收スル稅）ノ法律草案ニ就キ獨  
 逸聯邦上議院ヨリ國會ニ出セシ獨逸國宰相ノ  
 諭達尤ノ如シ  
 抑モ獨逸國ニ於テ不直稅ノ他ノ各國ニ比シ甚  
 盛ナラザリシヲ同盟各國政府ノ認知セシ以  
 未其財政上ノ法律ハ不直稅ヲ稍盛ニ施スノ地  
 位ニ趣ケリ而シテ既ニ一千八百七十九年ヲ以

テ輸出入税及ヒ烟草税ノ規則ヲ改正セシムル  
尚ホ未タ他ニ不直税ヲ課スルノ路ナキニ非ス  
且ツ又獨逸政府及ヒ同盟各國政府ノ財政已ニ  
困難ナラズト謂ベカラズ然リ而シテ不直税ノ  
直税ニ比シ一般ニ利益多キト就中獨逸國ノ改  
治上及ヒ經濟上ノ有様ニ從ヒ其益アルトハ已  
ニ上文ニ示ス所ノ輸出入税及ヒ烟草税改正ノ  
時ニ方リ之ヲ明カニスルヲ得タリ夫レ不直税  
ノ直税ニ比シ利益多キトハ唯タ徵收法ノ容易  
ニシテ且ツ直税不納者ヨリ税金ノ代リニ物品

ヲ取上ルト其物品ヲ取上ル為メノ官文ヲ配  
置スルトトヲ要セザルノミナラズ尚ホ不直税  
ヲ收ムル者ハ物品買入ノ際ニ於テ納税スルモ  
ノナルガ故ニ其時期納税者自カラ之ヲ定ムル  
ヲ得ベク又納税ノ金額ハ買入物品ノ多少ニ関  
スルカ故納税者ニ於テ自カラ其金額ノ多少ヲ  
定ムルヲ得ルノ便アリ是ヲ以テ不直税ノ直税  
ヨリ便利多キト實ニ明瞭ナリ而シテ不直税ノ  
殊更利益アルトハ賦課ヲ正當公平ナラシムル  
ニアリ其公平ナル所以ハ不直税ノ金額ハ地方

及ニ商業ノ景況ニ從テ常ニ適宜ニ増減シ物品  
ノ產地(或ハ物品ヲ輸入セシ土地)ヨリ之ヲ消費  
スルニ至ル迄ノ間ニ於テ其物品ヲ賣買スル者  
ニ悉ク分賦スルモノナレバナリ直税ニ至テハ  
其金額ヲ増減シ得ベカラズシテ納税者ハ永久  
同一ノ金額ヲ收メサルベカラズ而シテ若シ之  
ヲ納メサル片ハ政府ハ納税者所有ノ物品ヲ取  
上ルモノトス然ルニ不直税ハ納税者ニ於テ一  
時之ヲ納ムト虽凡其租税ヲ課スル所ノ物品  
ノ消費者ヨリ再々之ヲ求ムルモノニシテ即チ

内國ノ産物ニ就テハ納税者其税金ノ全額或ハ  
一部ヲ物品購求者ヨリ再々請求シ又外國ヨリ  
輸入シタル有税品ニ就テハ之ヲ産出スル所ノ  
外國ヨリ其税金ノ全額或ハ一部ヲ拂ハシムル  
モノナリ又不直税ノ金額ハ其他ノ物品ノ價直  
ニ關係スル事項(事項トハ縦令ハ穀物ナレバ收  
入ノ高、貿易ノ景況等、如シバ收)  
ニ比スレバ實ニ僅々タルモノニシテ其物品ノ價  
直ノ幾分が税金タルヤ實際ニ人ノ覺知セザル  
ニ至ルモノトス  
之ニ及シテ直税ノ利益ハ只一ノ理論上ノ利益

ニ過キスシテ即チ理論上ニ於テハ直税ハ各人  
民ヨリ其營業ノ功拙ニ隨ヒ賦課ニ多少アルベ  
シト魚氏斯ノ如キ理論ノ實際ニ適當スルト最  
モ稀ナリトス然リ而シテ各人民ノ營業ノ功拙  
ハ常ニ其本人ノ所得金ノ多寡ヲ確實ニ示スモ  
ノトラズ且ツ所得金ノ調査ヲナスト魚氏決シ  
テ正確ノ所得金額ヲ知ル能ハズ然ノミナラズ  
直税ハ一家ノ有様家族ノ健否地方ノ景況等ヲ  
省ミスシテ賦課スルモノナルカ故ニ假令ヒ所  
得金額同一ナルモノト魚氏其實際ノ財産ニ至

テハ大差ナシトスベカラズ右ノ如ク直税ノ不  
利益ナルト明瞭ナリト魚氏直ニ悉ク直税ヲ廢  
セント欲スルカ又ハ兵役ニ服セサル所ノ徵兵  
適齡者ヲシテ兵役ニ服スル者ト公平ナラシム  
ル為メノ兵役税賦課ノ法案ヲ漫リニ廢止セン  
トスルカ如キトハ勿論實際ニ於テ為シ得ベカ  
ラサルトス<sup>抑</sup>賦課ノ正当公平ナラザルトハ措  
テ問ハズ租税ノ性質ニ從ヒ必ず直税ヲ以テセ  
ザルベカラザルモノハ其徵收法不便ナリト魚  
氏直税ヲ以テセザルベカラズ然リ而シテ所得

金税ニ財産ノ多寡ニ直ニ基ツカズ定ムル所ノ  
諸直税ハ各納税者ノ納税力ニ適當セサルヲ勿  
論明瞭ナルヲ以テ今茲ニ之ヲ贅セズ  
夫レ政府ノ歳費ヲ償フカ為メ獨逸國ニ比シ他ノ  
諸強國ニ於テ夥多ノ不直税ヲ賦課スル所以ハ  
在リ其國々ニ於テ不直税ノ徵收法ヲ利益多シ  
トナスニアリテ是レ決シテ疑フベカラザルノ  
トニシテ其確証タルヤ歴史上ヨリ經驗スルモ  
亦政治上ヨリ經驗スルモ明カナリ抑モ獨逸國  
ニ於テ較近稍盛ナラントスル不直税ノ法タル

獨逸同盟ヲ鞏固ナラシメンガ為メ最ニ緊要  
ノ方法ニシテ他國ニ於テヨリモ獨逸國ニ在テ  
ハ殊ニ適當セルモノトス今次ニ掲クル所ノモ  
ノハ各國ニ於テノ不直税ノ收入高ノ大略ヲ示  
スニ止リ其細小ノトニ至テハ炭ニ之ヲ詳カニ  
掲ケズ但歐洲諸大國及ヒ亞美利加合衆國ニ就  
テハ近年ノ會計豫算表ニ據リ又英國ニ就テハ  
千八百七十九年乃至八十年ノ會計決算表ニ據  
レルモノトス  
獨逸全國ニ於テ輸出入税消費税及ヒ証券印紙

税(財産譲渡税ヲ茲ニ含有ス)ノ總高ハ四億六千七百四十万零九千零二十八マルク(凡ソマルクハ貨貳拾五)ニシテ之ヲ人口ニ當ツレバ輸出入税ト消費税トヲ合セ一人ニ付キ九、ニマルク又証券印紙税一人ニ付キ一、ニマルクニシテ合計一人ニ付キ十、四マルクトス、佛國ニ於テ古租税ノ總高十五億七千九百六十一万七千五百六十六マルクニシテ人口一人ニ付キ輸出税ト消費税トヲ合セ二十七、七マルク証券印紙税十四マルク合計四十一、四マルクナリ、大英國及ヒ意爾蘭太ニ

於テハ其總高十億零九千万零二十万零五千四百三十八マルクニシテ人口一人ニ付キ輸出税ト消費税トヲ合セ二十四、九マルク証券印紙税六、七マルク合計三十一、六マルクナリ、仔國ニ於テハ其總高四億七千七百五十四万マルクニシテ人口一人ニ付キ輸出入税ト消費税トヲ合セ十二、四マルク証券印紙税四、三マルク合計十六、七マルクナリ、澳國ニ於テハ其總高三億六千五百三十八万二千六百マルクニシテ人口一人ニ付キ輸出入税ト消費税トヲ合セ十二、一マルク証券印紙税四、三

「マルク」合計十六、四「マルク」ナリ、魯國ニ於テハ其總額向  
十二億零五百零九万五千四百「マルク」ニシテ人口一人ニ  
付キ輸出入税ト消費税トヲ合セ十三、一「マルク」証券  
印紙税一「マルク」合計十四、一「マルク」ナリ、冰國ニ於テハ其總  
高十三億五千五百二十二万九千「マルク」ニシテ人口一人  
ニ付キ輸出入税ト消費税トヲ合セ二十六、一「マルク」証券  
印紙税〇、二「マルク」合計二十六、三「マルク」ナリ、獨逸國ニ於  
テハ輸出入税及ビ消費税ノ金額千八百七十五年ニ於テハ  
人口一人ニ付キ七、十五「マルク」ナリシト、虽氏前上  
ニ記載セシ所ニ從ヒ、巴九、二「マルク」ニ上レリ、斯ノ

如キ増加ヲ生セシ結果ノ一ハ既ニ前文ニ示セ  
ルニ箇ノ法律ヲ施行セシ事ノ外ニ「バイエルン」  
國及ヒ「バーデン」國ニ於テ麥酒及ヒ燒酎ノ租税  
ヲ増加セシニ因レリ、若シ今一千八百七十九年  
ノ輸出入税及ヒ租税法ノ改正ニヨリテ其税額  
人口一人ニ付キ十「マルク」ニ及ヘリト假定スト  
虽氏尚ホ之ヲ外國ニ比スレバ甚タ少クシテ獨  
逸國ヨリ多キト、澳國ハ每百三十二、伊國ハ每百  
三十五、魯國ハ每百四十二、大不利顛ハ每百百七  
十一、合衆國ハ每百百八十四、佛國ハ每百二百零



一ナリ然リ而シテ今輸出入税及ヒ消費税ニ証  
券印紙税ヲ加ヘテ比較スル時ニハ國ニ由リテ  
尚ホ大ナル差異ヲ生スベシ即チ獨逸國ニ於テ  
ハ人口一人ニ付キ其税額十一、ニマルクニシテ  
尚ホ之ヨリ多キト凡ソ魯國ハ每百二十六、澳國  
ハ每百四十六、五仔國ハ每百五十、大不列顛ハ每  
百百八十二、佛國ハ每百二百八十ナリ而シ  
テ合衆國ニ於テ徵收スル所ノ証券印紙税、高  
ハ實ニ僅々タルモノナリ  
右ノ説明ニ由レバ獨逸國ノ不直税ノ總額ハ他

ノ國ヨリ甚タ尠シ而シテ又租税ヲ賦課スルニ  
最モ適當ナル各消費品ニ就キ之ヲ比スレバ國  
ニヨリ其税額尚ホ多シ而シテ第一ニ之ニ屬ス  
ルモノヲ飲料税トス獨逸同盟國ニ於テ(ハイエ  
ル)國、(ウヰル)ンブルグ國、(バー)ン國及ビ(エ  
ル)ザツス、ロトリンゲン州ヲ除ク葡萄酒、菓汁、  
燒酎及ヒ麥酒ニ課スル不直税ノ國庫ニ收入ス  
ル總高七千七百十二万八千マルクニシテ即チ  
人口一人ニ付キニ、ニセマルクトス然リト魚氏  
合衆國ニ於テハ其高三億三千百二十四万六千

「マルク」ニシテ即チ人口一人ニ付キ六、四二「マルク」  
佛國ニ於テハ其高二億八千五百八十三万四  
千「マルク」ニシテ即チ人口一人ニ付キ七、五四「マ  
ルク」魯國ニ於テハ其高六億六千八百八十七万  
三千「マルク」ニシテ即チ人口一人ニ付キ七、八〇  
「マルク」大不列顛及ヒ意爾蘭太ニ於テハ其高五  
億五千二百零八万「マルク」ニシテ即チ人口一人  
ニ付キ十六「マルク」ナリ但シ殊ニ佛國ニ於テハ  
其他飲料ニ夥多ノ地方税ヲ賦課スルト魚凡省  
キラ茲ニ之ヲ載セズ

一千八百七十九年七月十六日布告ノ法律ヲ以  
テ獨逸同盟國ニ於テ確定セシ烟草税ハ(千八百  
八十三年乃至八十四年ノ會計年度ヨリ施行ス)  
人口一人ニ付キ一「マルク」ニ當レリ今此祖税ヲ  
外國ト比較セバ(一千八百七十八年獨逸聯邦上  
議院ヨリ設ケル烟草検査委員ノ報告ニ由ル)一  
千八百七十五會計年度ニ於ケル烟草税ノ金額  
ハ伊國ニ於テハ六千九百七十兆万四千零々八  
「マルク」ニシテ即チ人口一人ニ付キ二、五三「マル  
ク」澳國ニ於テハ七千七百十三万五千七百五十

六「マルク」ニシテ即チ人口一人ニ付キ三、四「マルク」  
ク合衆國ニ於テハ一億八千七百七十八万九千  
六百九十四「マルク」ニシテ即チ人口一人ニ付キ  
四、三六「マルク」大不列顛及ヒ意爾蘭太ニ於テハ  
一億六千二百四十五万六千八百八十八「マルク」  
ニシテ即チ人口一人ニ付キ四、八六「マルク」佛國  
ニ於テハ二億零五百三十二万七千三百七十六  
「マルク」ニシテ即チ人口一人ニ付キ五、六八「マルク」  
クナリ而シテ千八百七十六年以降公告セシ所  
ノ會計表ニ由リテ殊ニ佛國、大不列顛及ヒ合衆

國ニ於テハ尚ホ烟草稅收入ノ増加セシトシ知  
ルヲ得ヤシ  
上文ノ説明ニ由レバ獨逸國ハ他ノ強國ニ比ス  
ルニ不直稅多カラスニテ數多ノ直稅ヲ賦課ス  
ルト已ニ明カナリ而シテ其直稅ノ金額ヲ以テ  
只政府ノ經費ヲ辨スルノミナラス又市街、州、區  
郡、寺院等ノ費用ヲ支辨スルモノナリ然リ而シ  
テ直稅ノ重キニ過クルトハ今之ヲ數字ヲ以テ  
表明スルヲ要セズ其苛稅タルトハ已ニ世人ノ  
熟知スル所ナリ又直稅ハ不完全ニシテ且ツ重

キニ過ルガ故茲ニ之ヲ減シ不直税ヲ増加シテ  
其一部ヲ補ハザルベカラズ而シテ獨逸政府及  
ビ聯邦諸國ノ政府ハ其法律ニ從ヒ學校、貧院、警  
察、スタンデスアムト(出生、死亡、婚姻等ノ届ヲ差  
出ス役所)等ノ為メニ區郡ニ課スル所ノ苛税ヲ  
減ホスルノ方法ヲ速ニ設ケザルベカラズ政府  
ハ其盡スベキ義務ヲ區郡ノ人民ニ委子即チ上  
文ニ示ス學校等ノ政府自カラ支辨スベキ費用  
ヲ人民ヲシテ支出セシムル唯ニ其賦課法ノ不  
公平ナルノミナラズ殆ト人民ノ負擔シ難キ苛

税ヲ課スルモノト謂フベシ、夫レ少年輩ノ智識  
ヲ進メ、職業ヲ為ス能ハサル者ノ生活ヲ扶助シ  
法律ニ違フ者ヲ視察シ、人民保護ノ為メノ諸規  
則ヲ履行スル等ノ一ハ全國ノ間明ニ直接ニ其  
影響ヲ及ボスモノニシテ政府ノ職務ヲ施行ス  
ルニ政府タル者人民ヲ補助スル一ナク其費用  
ヲ悉皆區郡人民ニ永久支出セシムベキモノナ  
ラズ而シテ不直税ニ夥多ノ收入ヲ適宜ニ徵收  
シ得ル所ノ獨逸政府ニ於テ不直税ニ由テ同盟  
各國政府ノ收入ヲ増加セシムル時ハ已ニ夥多

ノ直税ヲ賦課シテ之ヲ増加シ能ハザル同盟各  
國政府ハ始テ上文ノ政府タル職務ヲ盡スヲ得  
ベシ

右ノ方法ニ由ル片ハ始テ獨逸國ノ租税法ヲ一  
洗シテ正當ニ夥多ノ租税ヲ徵收スルヲ得且ツ  
道理上區郡人民ノ負擔スベキ義務ニ非ザル重  
税ヲ除去スルヲ得ベシ

